



Hyper S-Stage KIT 取扱説明書

商品番号：01-05-5103

ボア径：48.5mm ストローク：44mm（ノーマル） 排気量：81.2cc
適応車種およびフレーム番号

Today: AF61-1000001~

- ・この度は、TAKEGAWA 商品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願い致します。
- ・取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

◎イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合がありますので、予めご了承下さい。

☆ご使用前に必ずお読み下さい☆

！使用燃料についてのご注意！

この製品はノーマルに比べ、高圧縮比となるよう設定しております。燃料は必ずハイオクタン価ガソリンをご使用下さい。レギュラーガソリンを使用された場合、異常燃焼を起こし、本来の性能を発揮しない上にピストンが壊れて重大な故障を起こす可能性があります。製品取り付け前に燃料タンクに残っていたガソリンにもご注意下さい。レギュラーガソリンが残っている場合は必ずハイオクタン価ガソリンと入れ替えて下さい。

！スパークプラグについてのご注意！

スパークプラグは必ず、CR8HSA（NGK）または、U24FSR-U（DENSO）に交換して下さい。その後に、スパークプラグ電極部の焼け具合により番数を決定して下さい。

- ◎取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、当社は賠償の責を一切負いかねます。
- ◎この製品を取り付け使用し、当製品以外の部品に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どのような事柄でも一切負いかねます。
- ◎この製品は、上記適応車種、フレーム番号の車両専用用品です。他の車両には取り付け出来ませんのでご注意下さい。
- ◎この製品の取り付けには上記適応車種にあった純正サービスマニュアルを参照し、確実に作業を行って下さい。
- ◎取り付けの際には適切な工具等を準備し、取付け要領に従って十分注意して作業を行って下さい。尚、この取扱説明書やカワサキ純正サービスマニュアルは基本的な技能や知識を持った方を対象としております。取り付け等の経験の無い方、工具等の準備が不十分な方は技術的信用のある専門店へご依頼されることをお勧め致します。
- ◎商品を加工等された場合は保証の対象にはなりません。
- ◎他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。
- ◎ボルト、ナット、ノックピン、パッキンの一部は再使用しますが、摩耗や損傷が激しいものは再使用せず、必ず新品のものをご使用下さい。



注意

下記内容を無視した取扱をすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害が想定される内容を示しています。

- ・一般公道では、法定速度を守り違法運転を心掛けて下さい。
（法定速度を越える速度で走行した場合、運転者は道路交通法、速度超過違反で罰せられます。）
- ・作業等を行う際は、必ず冷間時（エンジンおよびマフラーが冷えている時）に行ってください。
（火傷の原因となります。）
- ・作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。
（部品の破損、ケガの原因となります。）
- ・規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行ってください。
（ボルトおよびナットの破損、脱落の原因となります。）
- ・製品およびフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、手を保護して作業を行ってください。
（ケガの原因となります。）
- ・走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みが無いことを確認し緩みが有れば規定トルクで確実に増し締めを行ってください。
（部品の脱落の原因となります。）
- ・ガスケット、パッキン類は、必ず新品部品を使用して下さい。また、再使用する部品については、よく点検し摩耗や損傷がある場合は、必ず新品部品と交換して下さい。



警告

下記内容を無視した取扱をすると、人が死亡したり重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- ・エンジンを回転させる場合は、必ず換気の良い場所で行ってください。密閉した様な場所では、エンジンを始動させないで下さい。
（一酸化炭素中毒になる恐れがあります。）
- ・走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。
（事故につながる恐れがあります。）
- ・作業を行う際は、水平な場所で車両を安定させ安全に作業を行ってください。
（作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。）
- ・点検、整備は、取扱説明書又は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。
（不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。）
- ・点検、整備等を行った際、損傷部品が見つければ、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行ってください。
（そのまま使用すると事故につながる恐れがあります。）

◎性能、デザイン、価格は予告無く変更されます。あらかじめご了承下さい。

◎クレームについては、材料および加工に欠陥があると認められた商品に対してのみ、お買い上げ後1ヶ月以内を限度として、修理又は、交換させて頂きます。正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。また、修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。なお、レース等でご使用の場合は、いかなる場合もクレームは一切お受け致しません。あらかじめご了承下さい。

◎この取扱説明書は、本商品を破棄されるまで保管下さいますよう、お願い致します。

○ネジについて

◇普通、ボルトとナットは反時計方向に回すとゆるみ、時計方向に回すと締まります。

◇ネジを締める場合は最初から工具を使用せず、まずは指で締まるところまで締めましょう。

◇ネジをゆるめるということは、締まっている状態から3～4回転反時計方向に回すことをいい、取り外すということはネジが取れるまで反時計方向に回すことをいいます。

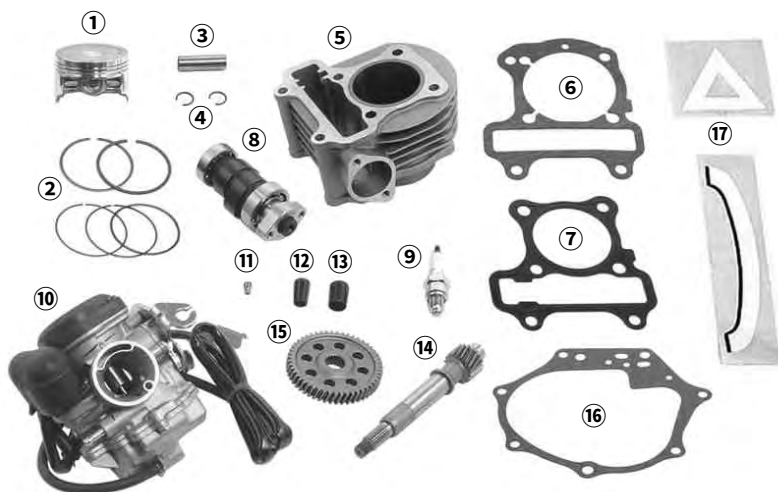
◇ネジを締めるということは、ネジをゆるまないように締めることをいいます。その目安をボルトごとに、折れない・ゆるまない数値で表したのが規定トルクです。

◇トルクレンチを用意することが出来ない方は折れない・ゆるまない力でネジを締めれるのであれば試して下さい。但し、当社では責任を負いません。トルクレンチが無くてもどのぐらいの力で締めるのと折れるのか、ゆるむのかは経験と勘でしか補えません。

◇工具を正しく使用しない場合、ボルト・ナット等のかかり部分が破損する場合があります。

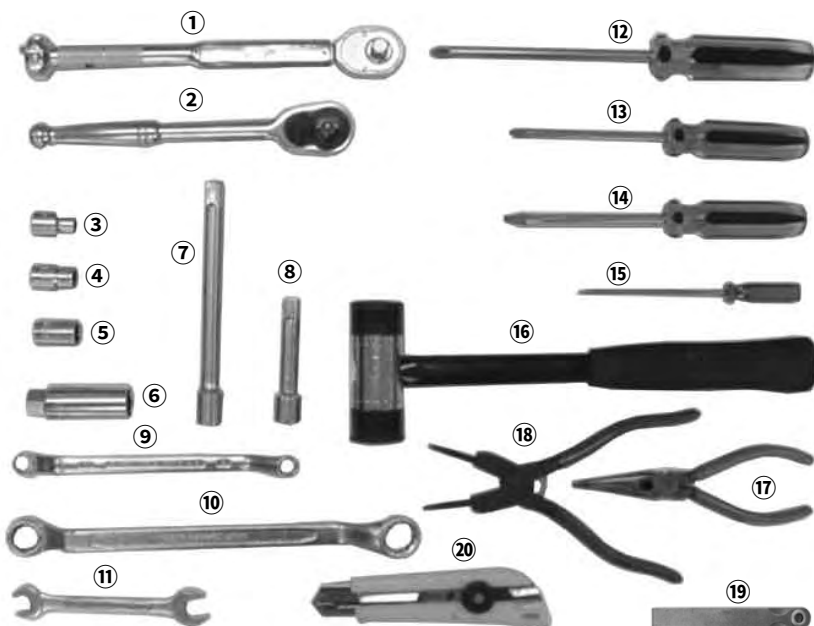
～商 品 内 容～

キット内容



番号	名 称	数量
1	ピストン	1
2	ピストンリングセット	1
3	ピストンピン	1
4	ピストンピンサークリップ	2
5	シリンダー	1
6	シリンダーヘッドガスケット	1
7	シリンダーガスケット	1
8	カムシャフト	1
9	スパークプラグ	1
10	キャブレタA S S Y.	1
11	メインジェット #80	1
12	キャップ 7mm	1
13	キャップ 9.8mm	1
14	ドライブシャフト	1
15	カウンターギア	1
16	トランスミッションカバーガスケット	1
17	原付2種マークセット	1

取り付けに使用する工具等



番号	名 称
1	トルクレンチ
2	ラチェットレンチ
3	ソケット 8mm
4	ソケット 10mm
5	ソケット 12mm
6	プラグソケット 16mm
7	エクステンションバー 中
8	エクステンションバー 小
9	メガネレンチ 9mm
10	メガネレンチ 14mm
11	スパナレンチ 10-12mm
12	プラスドライバー大
13	プラスドライバー中
14	マイナスドライバー中
15	マイナスドライバー極細先
16	プラスチックハンマー
17	ラジオペンチ
18	スナップリングプライヤー穴用
19	シクネスゲージ
20	スクレーパーまたはカッターナイフ
	ウエス
	エンジンオイル

～取 付 け 要 領～

※水平で安全な場所でスタンドを立て、車両を安定させる。これからの作業は必ず冷間時（エンジンおよびマフラーが冷えている時）に行うこと。

●取り外し

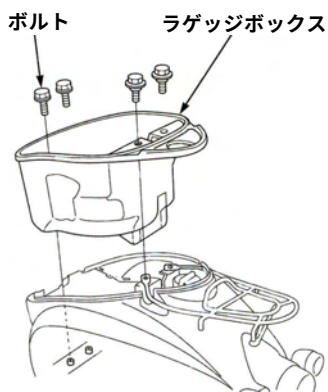
★ホコリやオイルなどの汚れを取り除いてきれいにしながら各パーツを取り外していくようにする。

★取り外したボルトやナットは無くさないように、どの場所に使用するのかわかるように保管する。

①ボディーカバーの取り外し

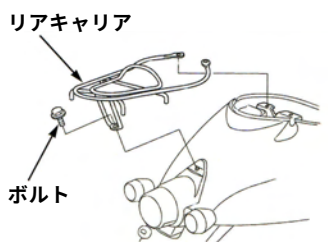
◇メインスイッチキーでシートを開け、ボルト4本を取り外し、ラゲッジボックスを取り外す。

使用工具
ソケット 10mm
ラチェットレンチ



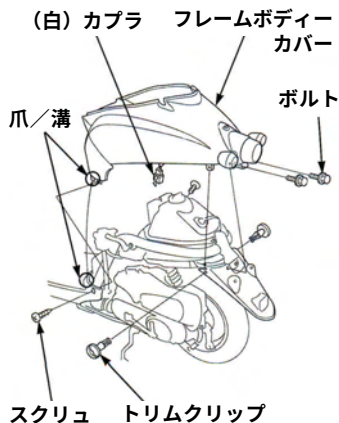
◇ボルト1本を取り外し、リアキャリアを取り外す。

使用工具
ソケット 10mm
エクステンションバー中
ラチェットレンチ



◇フロアパネルとボディーカバーを止めているスクリュ2本、リアフェンダーとボディーカバーを止めているトリムクリップ2個、ボルト2本を取り外す。

使用工具
メガネレンチ 10mm
プラスドライバー大



※トリムクリップは、中央部をドライバー等で押し、ロックを外してから取り外す。



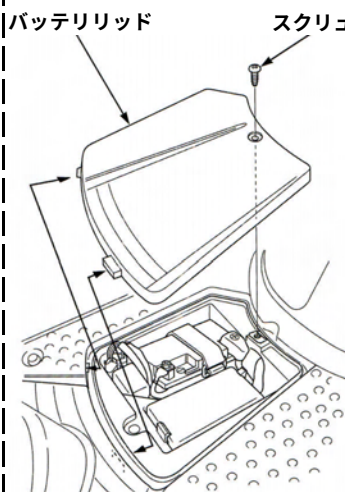
◇ボディーカバー後部を引き上げ前部の爪3箇所をフロアパネルの溝から外してボディーカバーを車体から取り外す。この際ボディーカバーにつながっている配線の白色カブラの接続を外す。



②バッテリーの取り外し

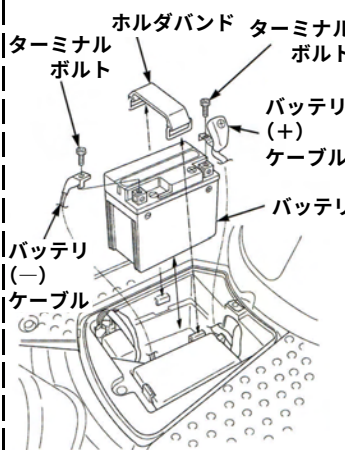
◇スクリュ1本を取り外し、バッテリーリッドの後を持ち上げながら後ろへ引いて取り外す。

使用工具
プラスドライバー中



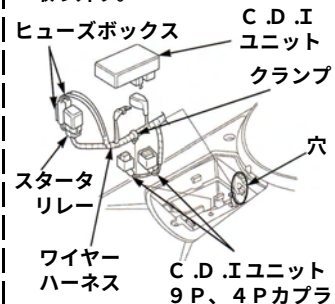
◇メインスイッチがOFFか確認する。バッテリーマイナス側のボルトを取り外し、マイナスケーブルを取り外す。バッテリープラス側のボルトを取り外し、プラスケーブルを取り外す。ホルダバンドを取り外し、バッテリーを取り外す。

使用工具
プラスドライバー中



③フロアパネルの取り外し

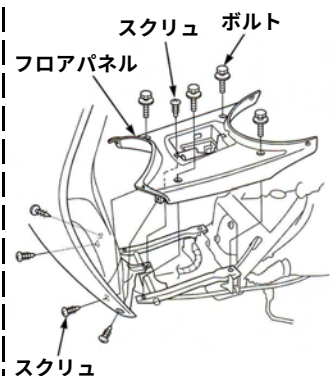
◇C.D.ユニットやスタータリレー、ヒューズボックス、ワイヤーハーネスをフロアパネルから取り外し、ワイヤーハーネスのクランプをフロアパネルから取り外す。



◇C.D.ユニット、スタータリレーのカブラの接続を外し、ワイヤーハーネスを真っ直ぐに伸ばしておく。

◇フレームとフロアパネルを止めているボルト4本とスクリュ1本、レッグシールドとフロアパネルを止めているスクリュ4本を取り外し、フロアパネルをフレームからずらす。

使用工具
ボルト : ソケット 10mm
ラチェットレンチ
スクリュ : プラスドライバー中



◇ワイヤーハーネス、ヒューズボックスをフロアパネルの穴に通し、フロアパネルを取り外す。

④二次空気供給パイプの取り外し

◇シリンダヘッドに付いている二次空気供給パイプのボルト2本を取り外す。

使用工具

ソケット 8mm

エクステンションバー中

(進行方向後側ボルトのみ)

ラチェットレンチ



二次空気供給パイプ

⑤キャブレタの取り外し

◇ドレンスクリューをゆるめ、キャブレタ内のガソリンを抜き取る。

使用工具

マイナスドライバー中



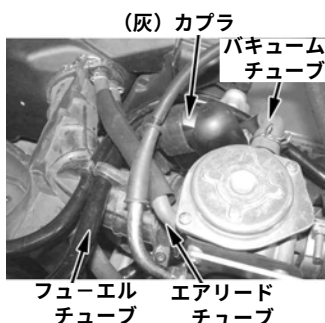
ドレンスクリュー

◇フューエルタンクの負圧コックからフューエルチューブの接続を外す。

フューエルチューブ



◇バイスターターの灰色カブラ、バキュームピストンホース、エアリードチューブの接続をキャブレタから外す。フューエルチューブをコネクティングチューブのクランプから外す。



(灰) カブラ

バキュームチューブ

フューエルチューブ

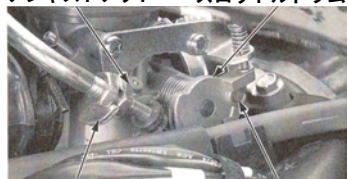
エアリードチューブ

◇アジャストナットをゆるめ、スロットルケーブルをステーから外し、スロットルドラムからスロットルケーブルの接続を外す。

使用工具

スパナレンチ 12mm

アジャストナット スロットルドラム



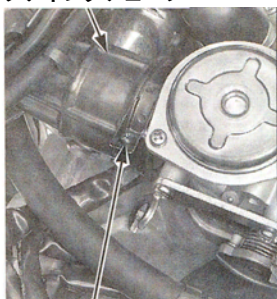
ケーブルホルダー スロットルケーブル

◇キャブレタとコネクティングチューブを止めているチューブバンドのスクリューをゆるめる。

使用工具

プラスドライバー中

コネクティングチューブ

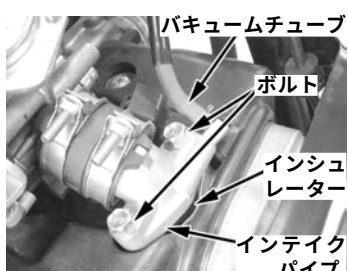


バンドスクリュー

◇インテイクパイプのバキュームチューブの接続を外し、シリンダヘッドとインテイクパイプを止めているボルト2本を取り外し、キャブレタ、インテイクパイプ、インシュレーターを取り外す。

使用工具

スパナレンチ 10mm



バキュームチューブ

ボルト

インシュレーター

インテイクパイプ

⑥エキゾーストマフラの取り外し

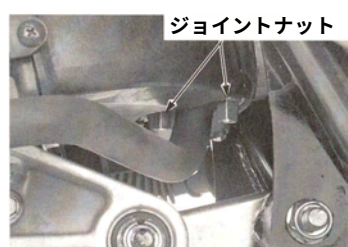
◇シリンダヘッドとエキゾーストパイプを止めているナット2個を取り外す。

使用工具

ソケット 10mm

エクステンションバー中

ラチェットレンチ



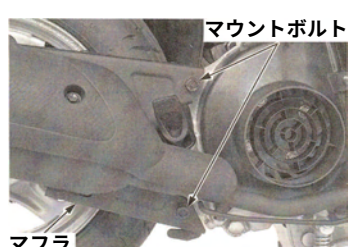
ジョイントナット

◇マフラステー部のボルト2本を取り外し、マフラを取り外す。

使用工具

ソケット 12mm

ラチェットレンチ

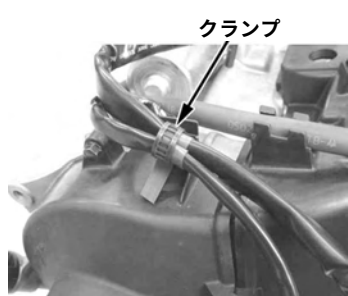


マウントボルト

マフラ

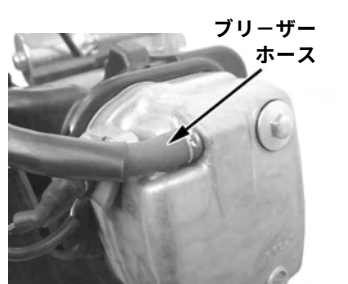
⑦ファンカバーとシュラウドの取り外し

◇ファンカバーに付いている配線のクランプを取り外す。



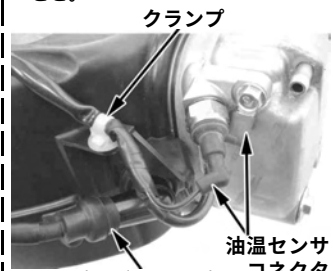
クランプ

◇シリンダヘッドカバーからブリーザーホースを取り外す。



ブリーザーホース

◇シリンダヘッドから、油温センサコネクタの接続を外し、シュラウドから配線のクランプを外す。プラグキャップを引っ張って外す。必ずキャップ部分を持って引っ張ること。

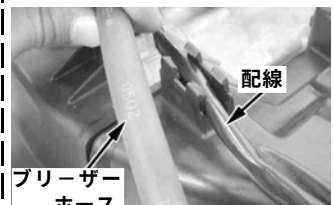


クランプ

油温センサコネクタ

プラグキャップ

◇シュラウドのクランプからブリーザーホースと、配線を外す。



配線

ブリーザーホース

◇ファンカバーとシュラウドを止めているスクリュー2本とファンカバーとクランクケースを止めているボルト2本を取り外し、ファンカバーを取り外す。

使用工具

スクリュー：プラスドライバー中

ボルト：ソケット 8mm

ラチェットレンチ



ファンカバー

スクリュー

◇上下のシュラウドを止めているスクリュー2本とシュラウドをクランクケースに止めているボルト1本を取り外す。

使用工具

スクリュー：プラスドライバー中

ボルト：ソケット 8mm

ラチェットレンチ



◇左右の爪を外し、シュラウドを外す。

⑧スパークプラグの取り外し

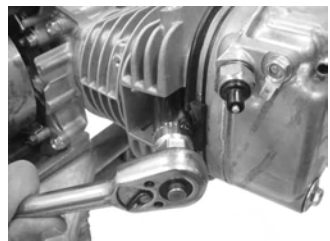
◇プラグキャップを引っ張って外す。必ずキャップ部分を持って引っ張ること。

◇スパークプラグを取り外す。

使用工具

プラグレンチ 16mm

ラチェットレンチ



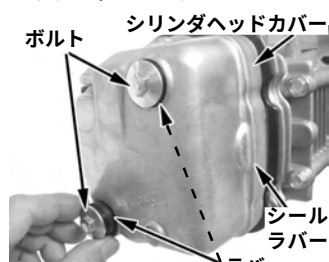
⑨シリンダヘッドカバーの取り外し

◇シリンダヘッドカバーのボルト2本を取り外し、ラバー2個、シリンダヘッドカバーを取り外す。

使用工具

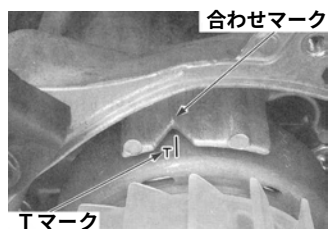
ソケット 10mm

ラチェットレンチ



⑩カムプロケットの取り外し

◇フライホイールを時計方向に回し、フライホイールの“T”マークをクランクケースの合わせマークを合わせ、カムプロケットのけがき線がシリンダヘッドの上面と平行になり、“1”が下側(排気側)、“2”が上側(吸気側)になるようにする。



◇フライホイールを保持し、カムプロケットのボルト2本を取り外す。

使用工具

ソケット 8mm

ラチェットレンチ



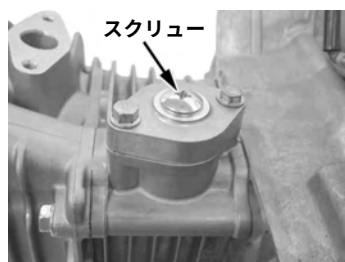
メガネレンチ 14mm



◇シリンダのカムチェーンテンショナのスクリューを取り外す。

使用工具

プラスドライバー大



◇カムチェーンテンショナのストッパを時計方向にいっぱいまで回し、ロックさせる。

使用工具

マイナスドライバー極細先



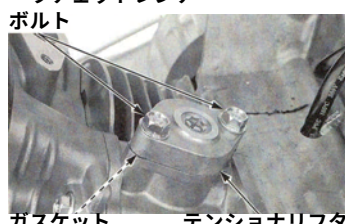
◇カムプロケットをカムシャフトから抜き、カムチェーンから取り外す。

◇2本のボルトを取り外し、カムチェーンテンショナを取り外す。ガスケットは再使用するので取り外しておく。

使用工具

ソケット 10mm

ラチェットレンチ



⑪シリンダヘッドの取り外し

◇シリンダヘッド横のボルト2本を取り外す。カムシャフトホルダーのナット4個を対角に数回に分けてゆるめ、取り外す。

使用工具

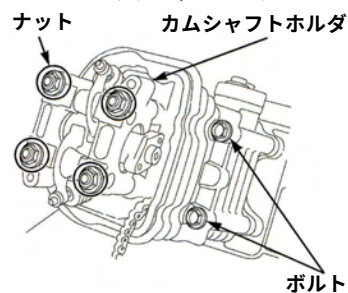
ボルト：ソケット 10mm

エクステンションバー中

ラチェットレンチ

ナット：ソケット 12mm

ラチェットレンチ



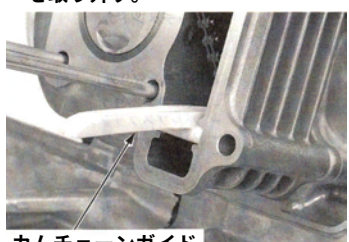
◇カムシャフトホルダーを取り外し、シリンダヘッドを取り外す。(かたい時はプラスチックハンマーで軽くたたき、取り外す。)



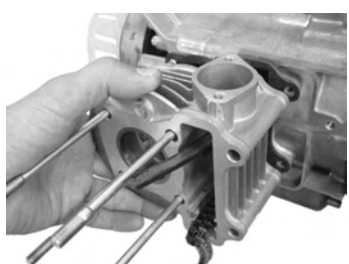
◇ノックピン4個は、再使用するの取り外しておく。

⑫シリンダの取り外し

◇シリンダからカムチェーンガイドを取り外す。



◇シリンダを引っ張って取り外す。(かたい時はプラスチックハンマーで軽くたたき、取り外す。)



◇ノックピン2個は再使用するの取り外しておく。

◇シリンダが外れた後、ゴミや部品が入らないようにきれいなウエス等をクランクケースのシリンダホールとカムチェーンホールに詰め込む。



◇ガスケットがクランクケースに残った場合は、スクレーパーやカッターナイフ等できれいに取り除いておく。

★キズをつけないように注意。

⑬ピストンの取り外し

◇ピストンピンサークリップの片側を取り外す。

★ピストンピン穴の切り欠き部を利用してこじるようにすると外れやすい。

使用工具

マイナスドライバー極細先



◇サークリップを取り外した方へピストンピンをドライバー等で押して外し、ピストンを外す。



● S-ステージ K I T の 取り付け

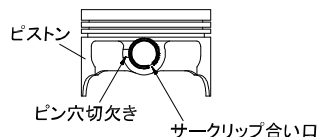
① ピストンの取り付け

◇ピストンのピン穴の片側に付属のピストンピンサークリップを取り付ける。

使用工具
ラジオペンチ



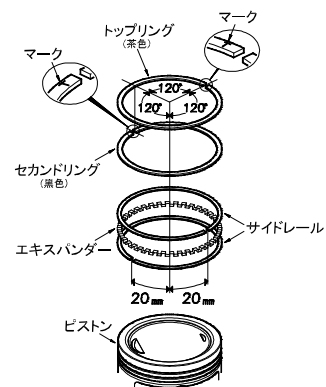
※ピストンピンサークリップの合い口は切り欠き部を避けて取り付けること。



※ピストンにキズを付けないように注意。

※取り付け中にピストンピンサークリップが外れて飛んでしまう恐れがあるので、慎重に取り付けること。

◇図を参考にしてピストンリングを取り付ける。エキスパンダー、サイドレール、セカンドリング、トップリングの順に取り付ける。



◇ピストンピン、ピストンピン穴、コンロッドのピストンピン穴にきれいなエンジンオイルを塗布する。



◇シリンダの内側にきれいなエンジンオイルを塗布し、均等に薄く塗り広げる。



◇ピストン頂面の“→”マークが、下(排気側)に向くようにピストンをコンロッドに取り付ける。



◇付属のピストンピンサークリップをもう片方のピン穴に取り付ける。

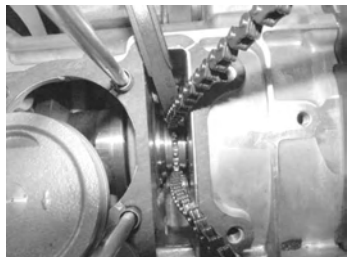
使用工具
ラジオペンチ



② シリンダの取り付け

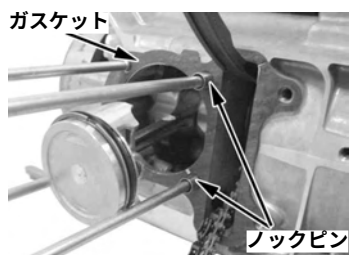
◇詰めていたウエスを取り外す。

◇カムチェーンホールを覗き、カムチェーンがクランクシャフトのスプロケットから外れていないか確認する。

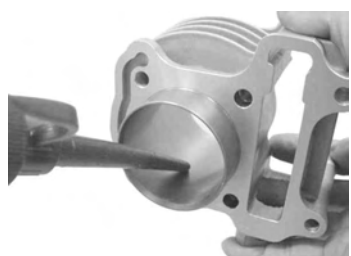


◇クランクケースとシリンダの合せ面をシンナー等で脱脂し、きれいにする。

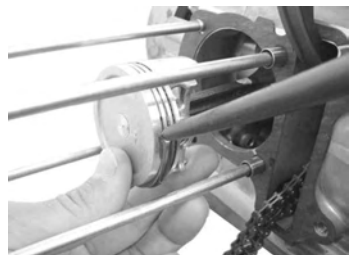
◇ノックピン2個とシリンダガスケットをクランクケースに取り付ける。



◇シリンダの内側にきれいなエンジンオイルを塗布し、均等に薄く塗り広げる。

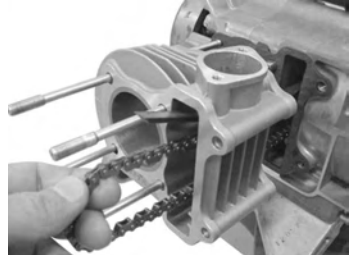


◇ピストンの全周面と、ピストンリングにきれいなエンジンオイルを塗布する。

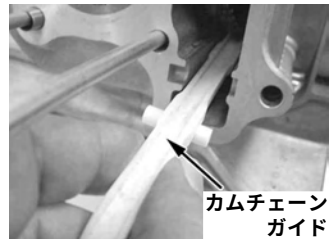


◇シリンダをピストンリングの合い口の位置がずれないように指で少しずつピストンにはめていき、シリンダをクランクケースにはめ込む。

★シリンダがピストンにはまったら、カムチェーンをシリンダに通しておく。

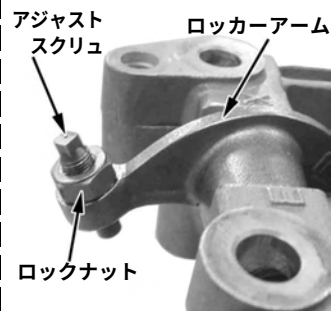


◇カムチェーンガイドをシリンダの溝にしっかりとめ込む。



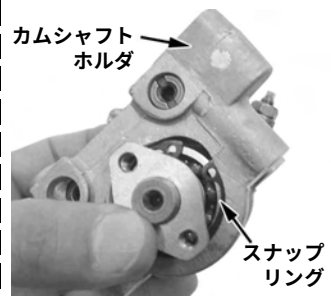
③ カムシャフトの取り付け

◇ロッカーアームのアジャストスクリューロックナットをゆるめ、アジャストスクリューをゆるめておく。



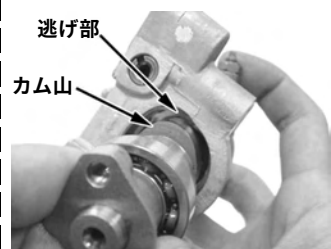
◇スナッピングをカムシャフトホルダーから取り外す。

使用工具
スナッピングブライヤー



◇カムシャフトホルダーにはカム山の逃げがあるのでカムシャフトを回しながら取り外す。

★無理に引っ張って取り外さないこと。



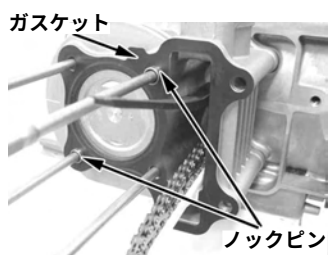
◇キットのカムシャフトをカムシャフトホルダーに同じように回しながら取り付け。

◇カムシャフトホルダーにスナッピングを取り付ける。

使用工具
スナッピングブライヤー

④シリンダヘッドの取り付け

◇シリンダとシリンダヘッドの合せ面をシンナー等で脱脂し、ノックピン2個とシリンダヘッドガスケットをシリンダに取り付ける。



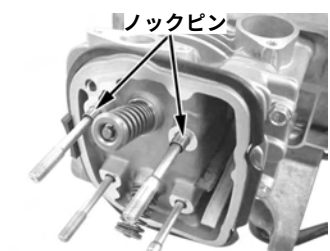
◇カムチェーンをシリンダヘッドに通し、シリンダヘッドを取り付ける。



◇シリンダヘッドにノックピン2個を取り付け、カムシャフトホルダーを取り付ける。

※このとき、カムシャフトはカム山をシリンダヘッド側にして取り付ける。

※カムシャフトホルダーは“EX”の文字が下側(排気側)になるように取り付ける。



◇ナット4個、ボルト2本を仮止めしておき、先にナットを対角線状になるように数回に分けて締め付ける。

使用工具

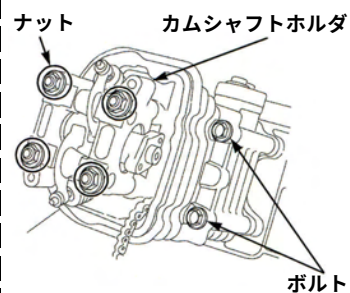
ナット：ソケット12mm
トルクレンチ

ボルト：ソケット10mm
エクステンションバー中
トルクレンチ

規定トルク

ナット：16N・m (1.6 kgf・m)

ボルト：12N・m (1.2 kgf・m)



⑤カムスプロケットの取り付け

◇カムチェーンテンショナのプッシュロッドがロックしているか確認する。

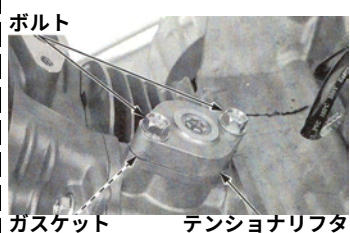
◇シリンダにガスケットとカムチェーンテンショナを取り付け、2本のボルトを取り付ける。

使用工具

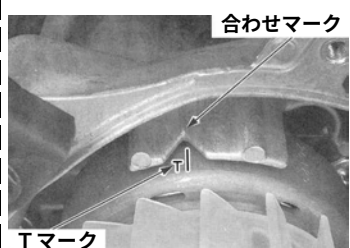
ソケット 10mm
トルクレンチ

規定トルク

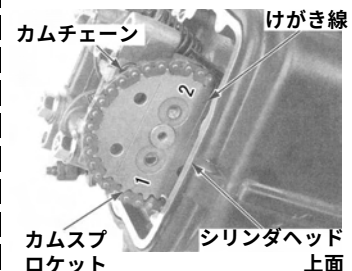
10N・m (1.0 kgf・m)



◇フライホイールの“T”マークがクランクケースの合わせマークに合っているか確認する。



◇カムスプロケットのけがき線がシリンダヘッドの上面と平行になり、“1”が下側(排気側)、“2”が上側(吸気側)になるようにカムチェーンを取り付ける。カムスプロケットをカムシャフトにはめ込む。



◇カムスプロケットの穴にカムシャフトのネジ穴を合わせ、ボルト2本を取り付ける。

使用工具

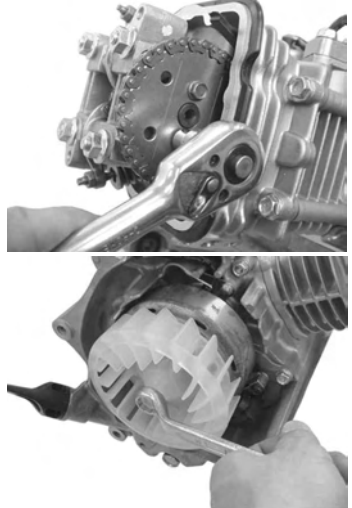
ソケット 8mm

トルクレンチ

メガネレンチ 14mm

規定トルク

9N・m (0.9 kgf・m)



◇カムチェーンテンショナのストップパを反時計方向に少し回し、プッシュロッドのロックを解除する。

使用工具

マイナスドライバー極細先



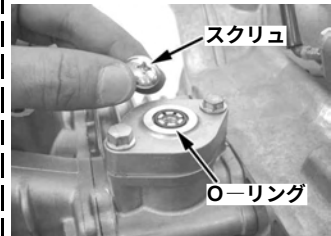
◇カムチェーンテンショナの溝にOリングが付いているのを確認し、スクリューをカムチェーンテンショナに取り付ける。

使用工具

プラスドライバー大

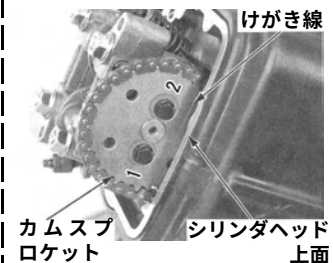
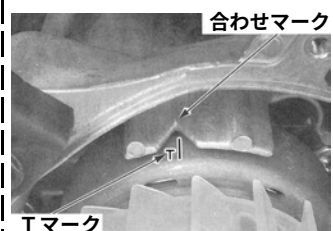
規定トルク

4N・m (0.4 kgf・m)



⑥バルブクリアランスの調整

◇フライホイールの“T”マークをクランクケースの合わせマークを合わせ、カムスプロケットのけがき線がシリンダヘッドの上面と平行になり、“1”が下側(排気側)、“2”が上側(吸気側)になっているか確認する。



◇アジャストスクリューとバルブステムの間に0.1mmのシクネスゲージを差し込み、引き抜くときに少し抵抗があるぐらいに合わせ、アジャストスクリューを固定してナットを締め付ける。

使用工具

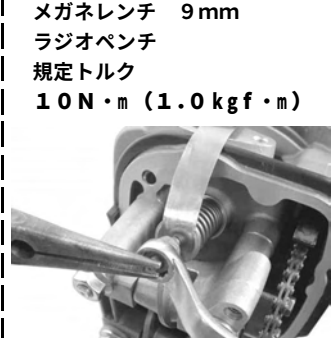
シクネスゲージ

メガネレンチ 9mm

ラジオペンチ

規定トルク

10N・m (1.0 kgf・m)



◇フライホイールを時計方向に2回転まわし、バルブ隙間が変化していないか確認する。隙間が変化している場合は再度調整する。この作業を合うまで繰り返す。

⑦シリンダヘッドカバーの取り付け

◇シリンダヘッドカバーにシールラバーを取り付け、シリンダヘッドにラバー2個、ボルト2本で取り付ける。

※ラバーは“UP”マークを上に向けて取り付けること。

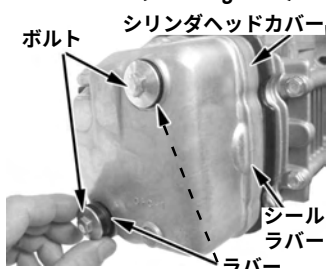
使用工具

ソケット 10mm

トルクレンチ

規定トルク

12 N・m (1.2 kgf・m)



⑧スパークプラグの取り付け

◇スパークプラグをまず手で締め込む。

◇プラグレンチを用いて締め付ける。

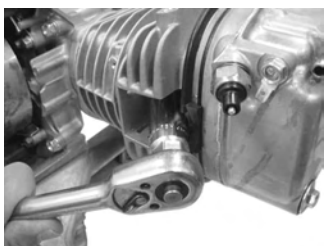
使用工具

プラグソケット 16mm

トルクレンチ

規定トルク

12 N・m (1.2 kgf・m)



⑨ファンカバーとシュラウドの取り付け

◇上下のシュラウドをシリンダヘッドのシールラバーに合わせて取り付け、左右の爪をはめ込む。

※ホースや配線を噛み込まないこと。

◇スクリー2本で上下のシュラウドを止め、クランクケースにボルトワッシャ1本で取り付ける。

使用工具

スクリー：プラスドライバー中

ボルトワッシャ：ソケット10mm

トルクレンチ

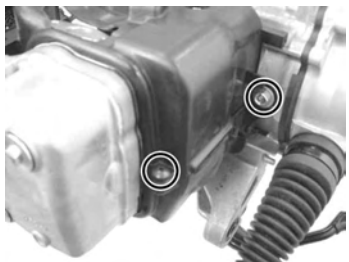
規定トルク

スクリー：2 N・m

(0.2 kgf・m)

ボルトワッシャ：7 N・m

(0.7 kgf・m)



◇ファンカバーをはめ、シュラウドにスクリー2本で、クランクケースにボルト2本で取り付ける。

使用工具

スクリー：プラスドライバー大

ボルト：ソケット 8mm

エクステンションバー小

トルクレンチ

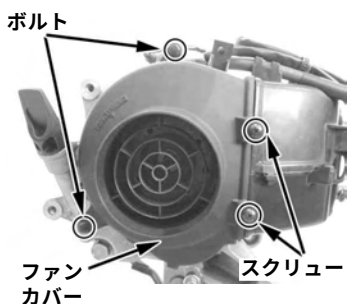
規定トルク

スクリー：2 N・m

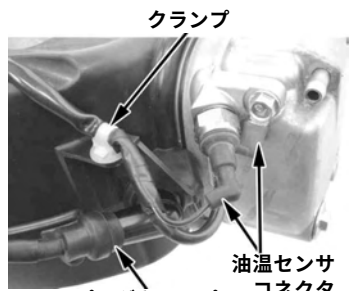
(0.2 kgf・m)

ボルト：7 N・m

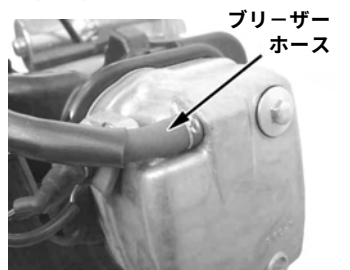
(0.7 kgf・m)



◇油温センサーコネクタをシリンダヘッドカバー油温センサー部に接続し、配線のクランプをシュラウドに取り付ける。



◇プリーザーホースをシリンダヘッドカバーに取り付け、油温センサーの配線と共にシュラウドに取り付ける。

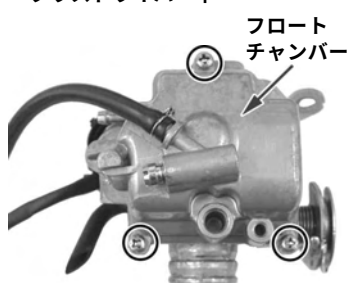


⑩キャブレタの取り付け

◇キットのキャブレタのスクリー3本を取り外し、フロートチャンバーを取り外す。

使用工具

プラスドライバー中

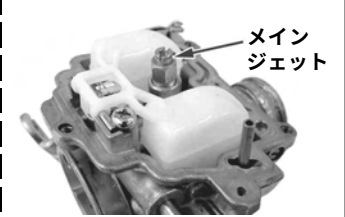


◇メインジェットを取り外しキット内のメインジェット#80を取り付ける。

使用工具

マイナスドライバー小

※付属していたメインジェットは使用しない。



◇フロートチャンバーを取り付け、スクリー3本を取り付ける。

使用工具

プラスドライバー中

規定トルク

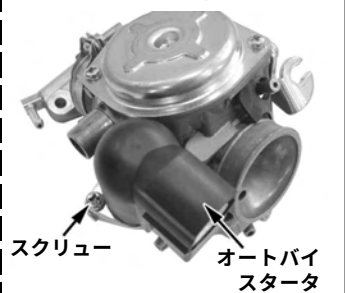
2.1 N・m

(0.21 kgf・m)

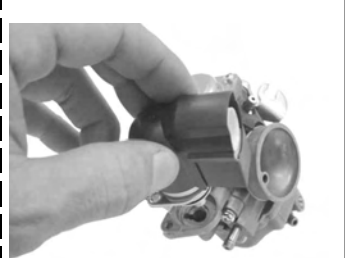
◇ノーマルキャブレタのオートバイスタータ部からスクリーを取り外す。

使用工具

プラスドライバー中



◇オートバイスタータを抜き取る。



◇キットのキャブレタも同様にオートバイスタータを取り外す。

使用工具

プラスドライバー中

※付属していたオートバイスタータは使用しない。



◇ノーマルのオートバイスタータをキットのキャブレタに取り付け、スクリューを取り付ける。

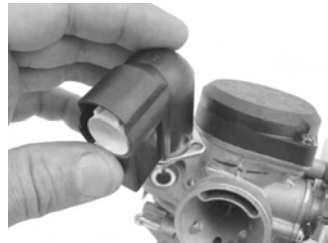
使用工具

プラスドライバー中

規定トルク

2.1 N・m

(0.21 kgf・m)



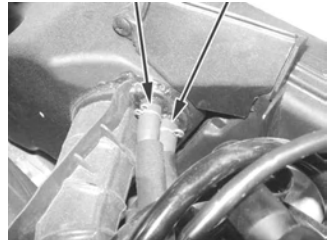
スクリュー

◇ノーマルのキャブレタからフューエルチューブを外し、キットのキャブレタに取り付ける。

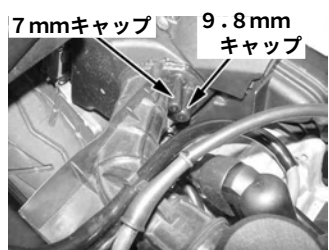


◇エアクリーナケースからバキュームピストンホースとエアリードチューブを取り外す。

バキューム
エアリードチューブ
ピストンホース



◇取り外した後の口にゴム系接着剤を塗布し、上側にキャップ7 mm、下側にキャップ9.8 mmを取り付ける。



7 mmキャップ

9.8 mm
キャップ

◇エアクリーナケースとクランクケースを止めているボルト2本を取り外す。

使用工具

ソケット 10 mm

エクステンションバー小

ラチェットレンチ

エアクリーナケース



◇インシュレータのバンドスクリューを緩め、ノーマルキャブレタを取り外す。

使用工具

プラスドライバー中



バンドスクリュー

◇キットのキャブレタをインシュレータに取り付け、バンドスクリューを締め付ける。

使用工具

プラスドライバー中

規定トルク

2 N・m (0.2 kgf・m)



バンドスクリュー

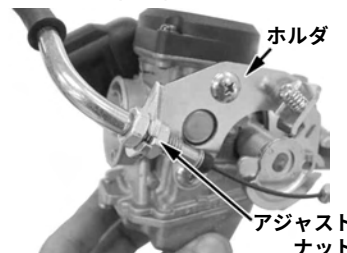
◇スロットルケーブルアジャスト部からラバーとアジャストナットを取り外す。



ラバー

アジャストナット

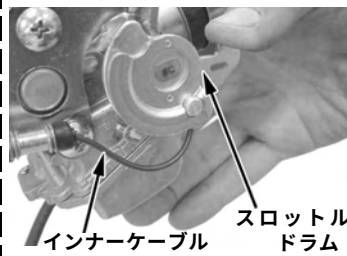
◇キットのキャブレタのホルダにスロットルケーブルを取り付け、アジャストナットを取り付ける。ラバーを取り付ける。



ホルダ

アジャスト
ナット

◇キャブレタのスロットルドラムを回し、スロットルケーブルのインナーを取り付ける。



インナーケーブル

スロットル
ドラム

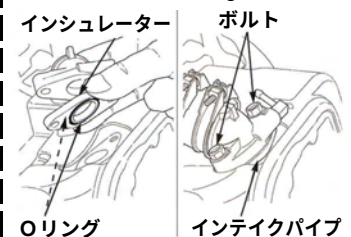
◇インシュレータの裏表にOリングが付いているのを確認してインテイクパイプとシリンダヘッドの間にはさみ、ボルト2本を取り付ける。

使用工具

スパナレンチ 10 mm

規定トルク

10 N・m (1.0 kgf・m)



インシュレーター

ボルト

Oリング

インテイクパイプ

◇エアクリーナケースとクランクケースをボルト2本で取り付ける。

使用工具

ソケット 10 mm

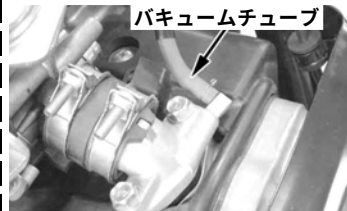
エクステンションバー小

トルクレンチ

規定トルク

10 N・m (1.0 kgf・m)

◇バキュームチューブをインテイクパイプに接続する。



バキュームチューブ

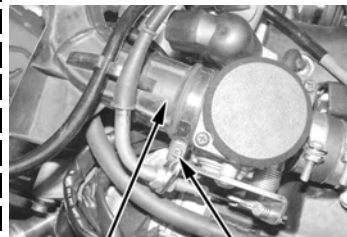
◇キットのキャブレタはノーマルのものより全長が短いため、コネクティングチューブを若干引き寄せながらキャブレタにはめ込み、チューブバンドを締め付ける。

使用工具

プラスドライバー中

規定トルク

2 N・m (0.2 kgf・m)



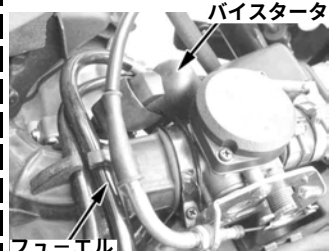
コネクティング
チューブ

バンドスクリュー

◇フューエルチューブをフューエルタンクの負圧コックに接続する。フューエルチューブ



◇バイスタータの灰色カプラを接続し、フューエルチューブをコネクティングチューブのクランプに取り付ける。



バイスタータ

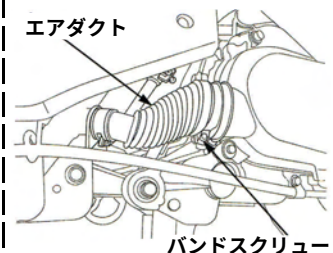
フューエル
チューブ

⑪ハイギアの取り付け

◇L.クランクケースカバーにあるエアダクトのバンドスクリューを緩め、ケースカバーからダクトを取り外す。

使用工具

プラスドライバー中



エアダクト

バンドスクリュー

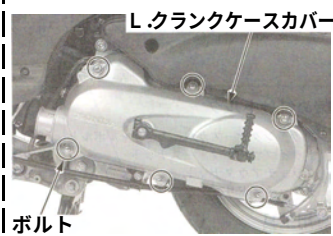
◇L.クランクケースカバーを固定しているボルト6本を外し、L.クランクケースカバーとシールラバーを取り外す。

使用工具

ソケット 8 mm

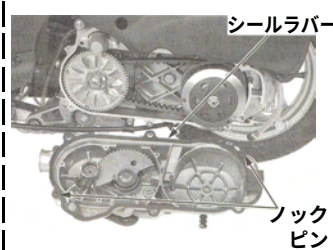
エクステンションバー小

ラチェットレンチ



L.クランクケースカバー

ボルト



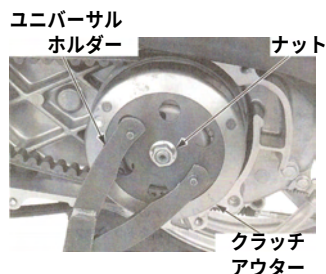
シールラバー

ノック
ピン

◇ユニバーサルホルダーを使用して、クラッチアウターを固定しているナットを外し、クラッチアウターを取り外す。

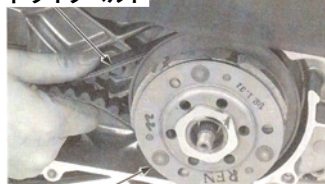
使用工具

ユニバーサルホルダー
ソケット 14mm
ラチェットレンチ



◇ドライブベルトを絞ってクラッチ/ドリブnpulley ASSY. とドライブベルトを取り外す。

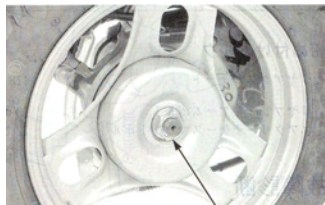
ドライブベルト



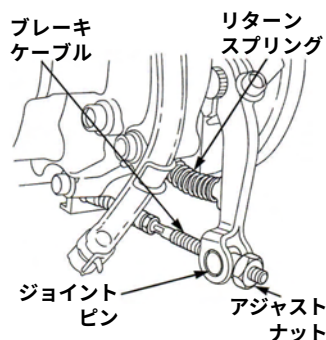
◇リヤホイールのアクスルナットとワッシャを外し、リヤホイールを取り外す。

使用工具

ソケット 24mm
ラチェットレンチ



◇アジャストナットを外し、ブレーキケーブルをジョイントピンから取り外す。

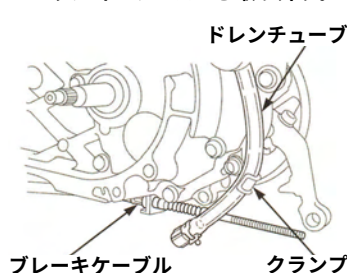


◇トランスミッションケースブリーザーチューブをエアクリーナーケースから取り外す。



◇クランクケースブリーザードレンチューブをクランプから取り外す。

◇リヤブレーキケーブルをトランスミッションケースから取り外す。

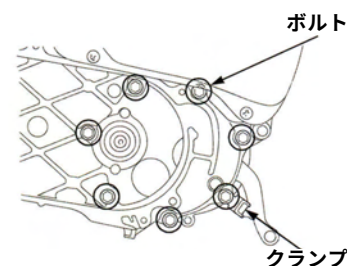


◇ミッションケースの下にオイルの受け皿を置く。

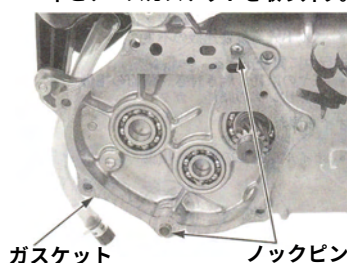
◇トランスミッションケースボルト7本とチューブクランプを取り外し、トランスミッションケースを取り外す。

使用工具

ソケット 10mm
エクステンションバー小
ラチェットレンチ



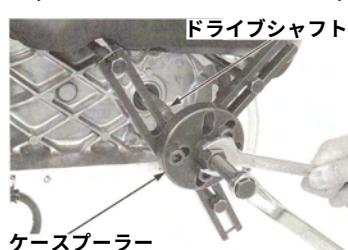
◇L. クランクケースからノックピン2本とケースガasketを取り外す。



◇L. クランクケースにプーラーを取り付け、ドライブシャフトを取り外す。

専用工具：ケースプーラー

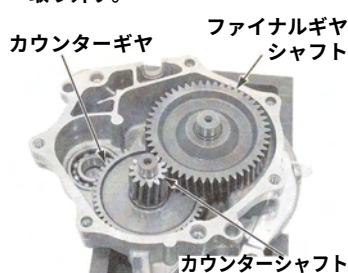
(07SMC-0010001)



◇ドライブシャフト側にベアリングが残った場合、市販のベアリングプーラーを使用し、取り外す。



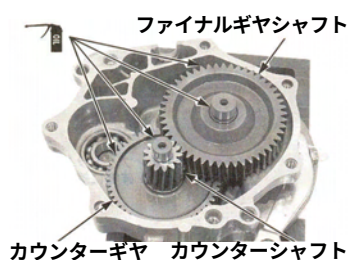
◇トランスミッションケースからファイナルギヤシャフト、カウンターシャフト、カウンターギヤを取り外す。



◇キットのカウンターギヤのスプラインに合わせて、カウンターシャフトを取り付け、トランスミッションケースに取り付ける。

◇ファイナルギヤシャフトを取り付ける。

※各ギヤとベアリング部にエンジンオイルを塗布すること。



◇キットのドライブシャフトをL. クランクケースのベアリング部に差し込み専用工具を使用し、ドライブシャフトを取り付ける。

専用工具

：アッセンブリカラー

(07965

—GM00100)

：アッセンブリカラー

アタッチメント

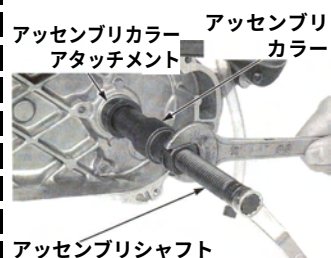
(07965

—GM00200)

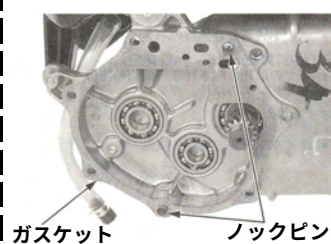
：アッセンブリシャフト

(07965

—GM00300)



◇L. クランクケースにノックピン2本とキットのガasketを取り付ける。

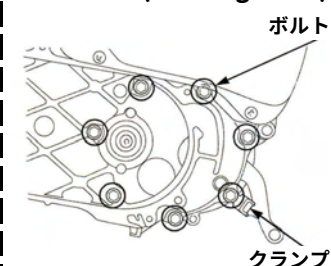


◇チューブクランプとトランスミッションケースボルト7本を取り付け締め付ける。

使用工具

ソケット 10mm
エクステンションバー小
トルクレンチ
規定トルク

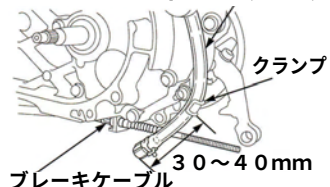
12N・m(1.2kgf・m)



◇ドレインプラグが図のようにクランプから30～40mmの位置になるように、クランクケースブリーザードレインチューブをクランプに取り付ける。

◇リヤブレーキをトランスミッションケースに取り付ける。

ドレインチューブ



◇トランスミッションケースブリーザーチューブをエアクリナーケースに取り付ける。



◇オイルチェックボルトを外し、ボルト穴の下端までオイルを注入する。

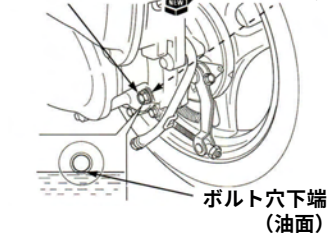
◇チェックボルトを取り付け、締め付ける。

使用工具
ソケット 12mm
トルクレンチ
規定トルク
13 N・m (1.3 kgf・m)
推奨オイル
ホンダウルトラ U

10W-30

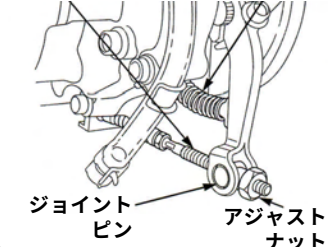
又は
API 分類 S J 級
SAE 規格 10W-30

オイル シーリング
チェックボルト ワッシャ



◇ジョイントピンをブレーキアームに取り付け、ブレーキケーブルをジョイントピンを通してアジャストナットを取り付ける。

リターン
ブレーキケーブル スプリング



◇リヤホイールを取り付け、ワッシャを取り付ける。

◇アクスルナットのネジ部と座面にオイルを塗布し、ナットを取り付け締め付ける。

使用工具
ソケット 24mm
トルクレンチ

規定トルク
118 N・m (12.0 kgf・m)

※ブレーキドラム内面及びブレーキライニングを脱脂して取り付けること。

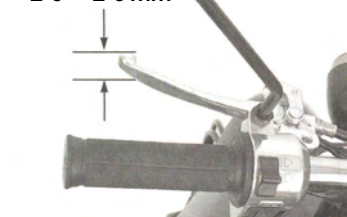


アクスルナット、ワッシャ

◇リヤブレーキのアジャストナットを回し、リヤブレーキの調整をする。

◇L.ブレーキレバー先端で遊びを確認する。

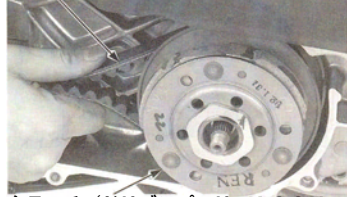
遊び: 10～20 mm
10～20 mm



◇ドライブベルトをドライブプリーに取り付け、ドリブプリーの溝を広げドライブベルトを取り付ける。

◇クラッチ/ドリブプリーASSY.をドライブシャフトに取り付ける。

ドライブベルト



◇クラッチアウターとナットを取り付け、ユニバーサルホルダーを使用し、ナットを締め付ける。

規定トルク
39 N・m (4.0 kgf・m)

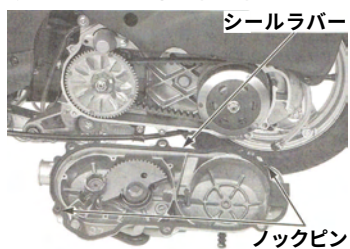
※クラッチアウター内面及びクラッチライニングを脱脂して取り付けること。

ユニバーサルホルダー ナット



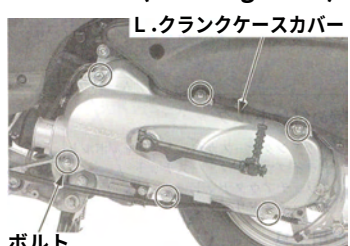
◇シールラバーをL.クランクケースカバーの溝に取り付ける。

◇ノックピン2本を取り付ける。



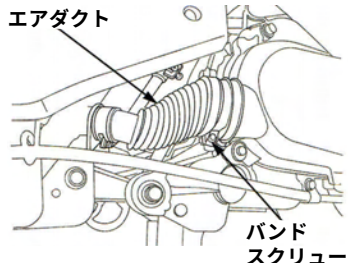
◇L.クランクケースカバーを取り付けボルト6本を対角に数回に分けて締め付ける。

規定トルク
10 N・m (1.0 kgf・m)



◇エアダクトをL.カバーに取り付け、バンドスクリューを図のように下に向け締め付ける。

使用工具
プラスドライバー中
規定トルク
2 N・m (0.2 kgf・m)



⑫二次空気供給パイプの取り付け

◇シリンダヘッドにガスケットとパイプをボルト2本で取り付ける。

使用工具
ソケット 8mm
エクステンションバー中
(進行方向後側ボルトのみ)

ラチェットレンチ
規定トルク
10 N・m (1.0 kgf・m)

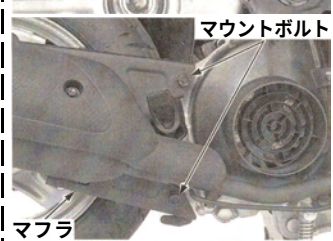
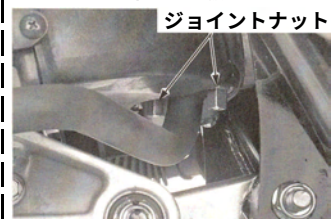


二次空気供給パイプ

⑬エキゾーストマフラの取り付け

◇シリンダーヘッドのスタッドボルトにエキゾーストマフラのフランジを差し込み、位置を合わせる。

◇エキゾーストマフラのフランジ側をナット2個で、マフラステー部をボルト2本でまず仮止めする。



◇まず、ナット2個を本締めし、ボルト2本を本締めする。

使用工具
ナット: ソケット 10mm
エクステンションバー中
トルクレンチ
ボルト: ソケット 12mm
トルクレンチ

規定トルク
ナット: 10 N・m
(1.0 kgf・m)
ボルト: 26 N・m
(2.7 kgf・m)

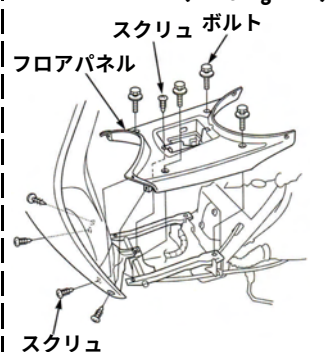
⑭フロアパネルの取り付け

◇フロアパネルの穴にワイヤーハーネスやヒューズボックスを通し、フロアパネルを車体にはめ込む。

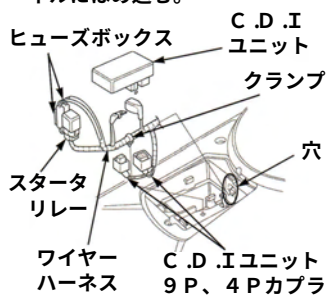
◇フレーム側にボルト4本とスクリュ1本、レッグシールド側にスクリュ4本で取り付ける。

使用工具
スクリュ: プラスドライバー中
ボルト: ソケット 10mm
トルクレンチ

規定トルク
スクリュ: 2 N・m
(0.2 kgf・m)
ボルト: 10 N・m
(1.0 kgf・m)



- ◇スタータリレーやC.D.Iユニットのカブラを接続し、フロアパネルにはめ込む。



⑮バッテリーの取り付け

- ◇メインスイッチがOFFが確認する。

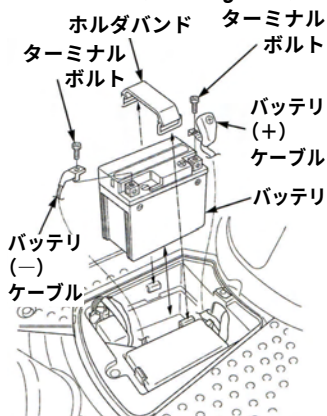
- ◇バッテリーをフロアパネルに入れ、ホルダバンドで固定する。バッテリーのプラス側にプラスケーブルをボルトで取り付ける。バッテリーのマイナス側にマイナスケーブルをボルトで取り付ける。

使用工具

メガネレンチ 10mm

規定トルク

14N・m (1.4kgf・m)



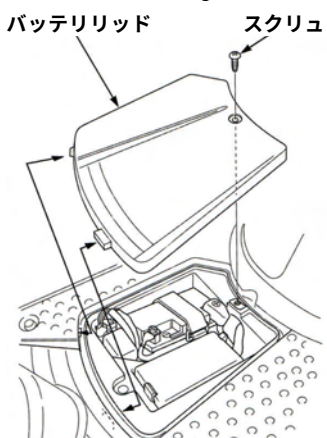
- ◇フロアパネルにバッテリーリッドの前面を先に差し込み、はめ込む。スクリュ1本を取り付ける。

使用工具

プラスドライバー中

規定トルク

2N・m (0.2kgf・m)



⑯ボディーカバーの取り付け

- ◇ボディーカバーを少し左右に広げ、車体にかぶせる。この際、配線の白色カブラを接続する。



- ◇ボディーカバーの前面をフロアパネルの溝にしっかりとめ込む。

- ◇ボディーカバー後部のリアキャリア取り付け穴とリアフェンダー取り付け穴を、フレームのそれぞれのボス部にはめ込む。

- ◇スクリュ2本、ボルト2本、トリムクリップ2個を取り付ける。

使用工具

スクリュ：プラスドライバー中

ボルト：ソケット 10mm

エクステンションバー小

トルクレンチ

規定トルク

スクリュ：2N・m

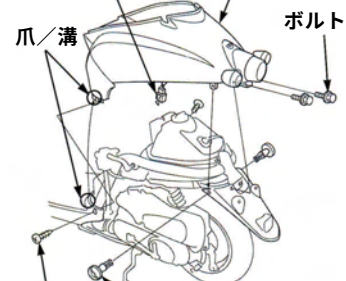
(0.2kgf・m)

ボルト：10N・m

(1.0kgf・m)

(白) カブラ フレームボディー

カバー



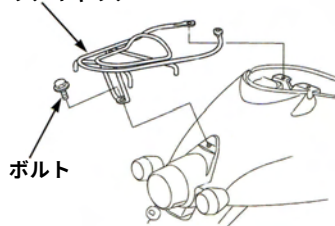
スクリュ トリムクリップ

- ※トリムクリップは中央部を上げておき、取り付けてから中央部を押してロックさせる。



- ◇リアキャリアをボルト1本で仮止める。

リアキャリア



- ◇ラゲッジボックスの後部の取り付け穴2箇所をリアキャリアの取り付け穴に合わせ、ボルト4本で取り付ける。リアキャリアのボルト1本を本締めする。

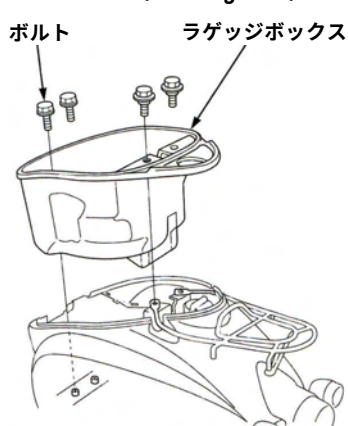
使用工具

ソケット 10mm

トルクレンチ

規定トルク

10N・m (1.0kgf・m)



●走行前の注意

①使用燃料について

- 燃料タンクにレギュラーガソリンが残っている場合は、必ずハイオクタン価ガソリンと入れ替える。

②各部の点検

- ◇各部を点検し、ネジやナット等の緩みがないか確認する。
- ◇エンジンオイルが規定量入っているか確認して下さい。
- ◇風通しが良く、安全な場所で十分注意してエンジンを始動し暖気運転させる。
- ◇エンジンからの異音や、各ガスケット部からのオイルもれがないか点検する。
- ◇エンジンを切り、充分冷えた後で各部を点検し、ネジやナット等の緩みがないか再度点検する。

キャブレターセッティング要領

- ・キャブレターがエンジンに適合していない時のエンジンに現れる不調の原因は、混合気が濃すぎるか薄すぎるかの2つの原因に絞られます。
- ・エンジンに現れる不調の現象は次の通りです。

混合気が濃すぎる時	混合気が薄すぎる時
・爆発音が重い感じで断続する。 ・チョークを作動すると、より調子が悪くなる。 ・エンジンが暖機すると調子が悪くなる。 ・クリーナーを外すと調子が良くなる。 ・排気ガスが濃い。(黒い) ・プラグが黒くくすぶる。	・エンジンがオーバーヒート気味になる。 ・チョークを作動すると、調子が良くなる。 ・加速が悪い。(息付きをおこす) ・回転変動があり、力がない。 ・プラグが白く焼ける。

※キャブレターのセッティングは暖機後に行い、走行確認を行って下さい。又、プラグは適正な熱価の物をご使用下さい。

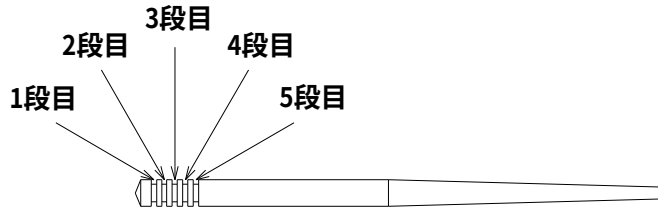
※エンジン回転後、スロットル開度等により、どの範囲でエンジンが不調になるかを考慮し、下記の要領でセッティングして下さい。

○ジェットニードル (スロットル開度1/4-3/4)

加速時、スロットルに回転がついて来るか、来ないか

- ・息付きをする場合、濃くして下さい。
- ・回転の上がりが高く、排気ガスが黒い場合は薄くして下さい。

この開度での混合比は、Eリングを入れる溝の段数で調整出来ます。Eリング位置が1段目から5段目へ下がるにつれ混合気は濃くなります。



○メインジェット (スロットル開度3/4-4/4)

この開度での混合比は、ジェットの番数を変えることにより調整出来ます。番数を上げると混合気が濃くなります。仕様等を考慮の上、最高回転数(最高速度)の得られる物を選んで下さい。

○パイロットジェット (調整前にまずエアスクリュウを調整して下さい。)

- ・エアスクリュウの戻し量3.0回転以上の場合、パイロットジェットを小さくして下さい。
- ・エアスクリュウが全閉になる場合は、パイロットジェットを大きくして下さい。
- ・パイロットジェットはアイドルリングから低速運転時に、エンジン回転数がスムーズに立ち上がるか否かを確認します。
- ・回転上昇に谷が出来る場合、パイロットジェットが小さ過ぎます。(アイドル回転時)
- ・排気濃く排気音が重い場合、パイロットジェットが大き過ぎます。(アイドル回転時)
- ・パイロットジェット交換時には、エアスクリュウの再調整が必要です。

○エアスクリュウ

エアスクリュウはスロー系の空気流量を調整します。(アイドルリング時)

- ・エアスクリュウを右に回す→混合気が濃くなる。
- ・エアスクリュウを左に回す→混合気が薄くなる。

標準戻し回転数(1.5回転)に合わせ、左右に1/4-1/2回転ずつ回しエンジン回転数が最も高くなる位置に調整します。

アイドルストップスクリュウで安定したアイドル回転まで下げ、もう一度エアスクリュウで最も回転数が高くなる位置に調整します。

●気圧、気温、湿度によるセッティングへの影響

- ・高地等で気圧が下がると空気密度が下がり、キャブレターへ吸入される空気が減少します。この為、低地で調整されたキャブレターは混合気が濃くなります。
- ・非常に気温の低い天候下では、空気密度が上がる為、キャブレターの混合気は薄くなります。
- ・雨天の場合は湿度が上がる為、空気密度が下がりキャブレターの混合気は濃くなります。

◎性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で商品および価格は予告無く変更されます。あらかじめご了承下さい。

◎クレームについては、材料および加工に欠陥があると認められた商品に対してのみ、お買い上げ後1ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂きます。但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。

◎この取扱説明書は、本商品を破棄されるまで保管下さいませお願い致します。